

小さな善意



齋藤栄一さん



齋藤行夫さん

「わたくしたち日光市民は旅行者を温かく迎えますよう」という市民憲章を实践した人がおり、親切を受けた人からたいへん感謝されています。

この人は、齋藤栄一さん（細尾町五五―一 二十三歳 相良建設（株）勤務）と齋藤行夫さん（本町三一十九 三十一歳 市役所勤務）の二人です。これは、親切を受けた人から市長に感謝の手紙が届き、探したところ二人の齋藤さんであることがわかったもので、市ではさっそく二人の善行に感謝の意を表しました。

手紙の差出人は、茨城県勝田市の宮本照子さんと静岡県浜松市の名和幸太郎さんです。この手紙に

は親切を受けたときの様子が詳しく記されていて、結びには、「親切な青年の心にふれて感激しました。日光がとてもりっぱに思え、心温かく感謝の気持ちでいっぱいです」と書かれていました。

文化祭

第三十二回日光市文化祭が十月十六日から十八日までの三日間、総合会館と東照宮研修会館の二会場で行われ、大勢の市民で賑わいました。



見事な作品が展示され大勢の市民でにぎわった文化祭

らしいものばかりで、一般の部が絵画、写真、書道、俳句、盆栽など約六百点、児童生徒の部が統計図表、絵画、書道など約九百点が展示されました。

十六日に行われた学校音楽祭には、市内の全小中学校が参加し、得意の演奏や歌を披露、会場に集まった約千人の観客から盛んな声援を受けていました。翌十七日に行われた日光芸能祭も賑わい、民謡や舞踊、箏曲、コーラスなどに日ごろ訓練した成果を披露しました。

人事

（一）内は前任者名（敬称略）
民生委員協議会連合会
▽委員 石川光子（高浜カツ）湯沢進（神山久夫）木野内銀一郎（保田治雄）木島三樹男（大森仙寿）



市役所前で行われた苗木の配布

苗木無料配布

県民一人ひとりに、緑を守り、造り、育て、緑の大切さを認識してもらおうと、栃木県と栃木県緑化推進委員会では、十月十五日、市役所前で家庭緑化用記念苗木の

配布を行いました。この日配られた苗木は、西洋シヤクナゲ五百本とトチの木六十本で、配布前には百人近くの市民が列をつくり、用意した五百六十本の苗木は一時間ほどでなくなるといふ人気でした。

栃の実基金

栃の実基金（地域福祉振興基金）は、ひとり暮らしやねたきのお年寄り、身体の不自由な人たちの手助けをしたり、子どもたちの健全育成などの福祉活動をするために、昨年創設された基金です。これまでこの基金に市内十六の自治会と、匿名で二人の方からご協力がありました。深く感謝します。（敬称略）

- ▽上鉢石町 一万三千元
- ▽中鉢石町 四千五百円
- ▽下鉢石町 五千六百六十八円
- ▽稲荷町一丁目 二万三千六百五十円
- ▽宝殿 一万九千七百十九円
- ▽匠町第二 七千円
- ▽本町第四 一万四五百円
- ▽山内 九千三百円
- ▽清滝和の代町 千五百円
- ▽湯元 一万円
- ▽南小来川 一万二千五百円
- ▽宮小来川 二万一千六百三十二円
- ▽東小来川 一万六千三百円
- ▽中小来川 一万七千九百五十円
- ▽滝ヶ原 九千五百円
- ▽本町第三 一万四百円
- ▽匿名 十万円